

令和5年8月20日

皆様へ

すでに報道等でご存じのことと存じますが、RedStorySchool（レイモミ小野フラスクール、エミフラメンコアカデミア、エミバレエスクールの総称）の主宰を務める小野恵美子につきまして、去る8月4日（金）に急逝されましたのでここにご報告申し上げます

生前お世話になった皆様並びに関係各所の皆様には心より感謝申し上げます

最後の最後まで舞踊家を貫いた人生でした

17年前、大切な思い出や記憶を奪う病気・アルツハイマー型認知症の診断により、小野恵美子の晩年は決して良い人生だったとは言えません。

2008年頃でしたか、「50才には50才の踊り。60才には60才の踊りがあるように、歳を重ねると、その年齢にあった踊りを踊っていきたい」と常に語っておりましたが、病気の進行により、振付も忘れていく中、好きな踊りが踊れない苦悩と焦りを感じている様子を今でも思い出されます。その頃が恵美子にとっても家族にとっても一番辛い時代だったように思えます。

そこから長い時間が過ぎ、2023年8月3日（木）。亡くなる前日もいつもと変わらない生活を送っておりました。普段通りご飯を食べ、歯を磨き、いつも通り就寝するという普通の生活。まさかその翌日に亡くなるなど、家族、介護スタッフを含め誰も予想できませんでした。

「アルツハイマーは思い出や記憶を奪う病気」です。最後は呼吸をする記憶さえも忘れさせてしまいましたが、そんな恐ろしい病気でも唯一最後の最後まで奪えなかった記憶がございました。それは「踊ること」。亡くなる前日もハワイアンやフラメンコの曲を流すと、車イスに座った状態で足を動かしてステップしたり、手を動かしていたりしていたそうです。振付はすべて忘れてしまったと思いますが、舞踊家の神髄でもある「踊る」という記憶は最後の最後まで奪うことができず、踊りに全身全霊をかけてきた小野恵美子らしい生き様を感じられる最後だったように思えます。

17年間という長い闘病生活お疲れ様でした

恵美子の踊りに対する想いや情熱は恵美子から踊りを教わった方々から直接指導を受けていない後進へと受け継がれていくと思います

今までありがとうございました

安らかにお休みください

RedStorySchool

小野晋作